

まえがき

本書は、先生たちの英語授業での「困った」に応えるかたちで、ちょっととした指導のコツやアイデアなどを紹介しています。

私は、今までたくさんの先生たちの授業を見せてもらいました。そこでいつも感じることは、どの授業も「ほとんど成功している」ということです。「ほとんど成功している」けど、あと少しだけ足りない。つまり、よりよい授業にする「伸びしろ」がどの授業にもあるということです。

達人の英語授業を見て、感動して、そのすべてをマネしようと、今までの自分の授業を大改革する先生もいますが、実は、よりよい授業をするために、大改革をする必要はありません。

ふだんの自分の授業に、ちょっとした指導のコツやアレンジを取り入れて、改良を加えていったほうが、生徒も教師も無理なく理想的な授業に近づくことができるのです。

私は、若い頃、ペアで1分間自由に英会話をするチャットをしていました。その授業を見ていた先輩の先生が「大塚先生、生徒同士のチャットは、起立させて、互いに向かい合わせて目と目を見ながら話すようにすると、もっと活発になるよ」と助言してくれました。そこで、言われたとおりにしてみると、みるみる変化が表れ、互いに真剣に聞き合い、助け合い、チャットが活発になっていきました。

このように、第三者のアドバイスによって、ふだんの授業をほんの少し変えるだけで、大きく改善することはよくあります。

本書のちょっとしたコツとこだわりを授業にプラスして、先生も大きくステップアップしてみませんか？

You never know what you can do until you try!

大塚 謙二

英語の授業づくりでの 「困った」を解決！

Introduction I

英語授業を改善するポイント 12

授業力アップ編

- Q1 英語授業を成功させるには 14
- Q2 「おもしろい！」と思わせる授業のコツは 15
- Q3 授業全体の流れをうまくつくるには 16
- Q4 授業で失敗しないための事前準備は 18
- Q5 元気のないクラスの雰囲気をよくするには 20
- Q6 授業が盛り上がりにかける時には 21
- Q7 授業内容への興味や関心を高める方法は 22
- Q8 授業内容をしっかりと定着させるには① 23
- Q9 授業内容をしっかりと定着させるには② 24
- Q10 重要ポイントをきちんと理解させるには 25
- Q11 全員を参加させる指名の方法は 26
- Q12 集中力を高める活動のアイデアは 27
- Q13 一番お勧めのウォームアップ法は 28
- Q14 授業にゲームをうまく取り入れるコツは 29

- Q15 探究心を高めるための指導法は 30
Q16 教材や教具で興味や関心を引き出すコツは 31
Q17 生徒たちから大きな声を引き出す指導法は 32
Q18 生徒の発言をうまく引き出す方法は 33
Q19 個人練習で意欲や集中力を引き出すには 34
Q20 生徒の机の上に必要な学習用具は 35
Q21 だらけた雰囲気にさせないためには 36
Q22 すばやく「聞く姿勢」をつくり出すには 37
Q23 他事やおしゃべりをなくすためには 38
Q24 叱っても態度が改まらない生徒には 39
Q25 忘れ物をする生徒への効果的な指導法は① 40
Q26 忘れ物をする生徒への効果的な指導法は② 42

第2章

ペア／グループ活動での 「困った」を解決！

- ペア／グループ活動の5つの効果 44

Q27 ペア活動がうまくいかない時には 46

Q28 テキパキとペア／グループをつくるには 47

- Q29 ペア／グループ活動を活発にするには……48
- Q30 ペアの会話を盛り上げるには……50
- Q31 緊張して話せない生徒への指導法は……51
- Q32 ペア活動を活気づかせるためには……52
- Q33 発言をうながすためのペア活動の工夫は……53
- Q34 発言を聞いていない生徒への対応法は……54
- Q35 発表活動の順番を工夫するには……55
- Q36 生徒が夢中になるペア活動の方法は……56

第3章

帯活動・ウォームアップでの 「困った」を解決！

Introduction

III

帯活動・ウォームアップをうまく活用する

Listening

- Q37 英文の大意をつかませる指導法は……60
- Q38 正確に聞き取る力を高めるには……61
- Q39 緊張して受け答えができない生徒には……62
- Q40 英語を英語のまま理解させるには……64
- Q41 教科書で聞く力も高めるには……65

Reading

- Q42 教科書内容に興味を持たせて読ませるには**66
- Q43 長文読解力を高めるには**67
- Q44 英語が苦手な生徒に読んで理解させるには**68
- Q45 読む力がつく教材の簡単な作り方は**69
- Q46 読解が苦手な生徒に集中して読ませるには**70
- Q47 何度練習しても読めない生徒への指導法は**71

Speaking

- Q48 話す力につけるには**72
- Q49 あいさつの時の指導の工夫は**73
- Q50 話す語数を増やす方法は**74
- Q51 英語を話すことに抵抗を感じている生徒には**76
- Q52 即興の1分間スピーチが難しい時は**77
- Q53 パフォーマンス活動がうまくできない時は**78

Writing

- Q54 単語が書けるように覚えさせる方法は**79
- Q55 簡単な単語すら覚えてこない生徒には**80
- Q56 授業の中で書く力につけるには**81
- Q57 英作文ができない生徒には**82
- Q58 「書けない」という生徒への指導法は**83
- Q59 書く力につける取り組みが見つからない時には**84
- Q60 新しい文型を定着させるには**85

- Q61** すきま時間で書く力を伸ばす方法は……86
Q62 音読筆写を成功させるには……88
Q63 正確に書く力を高めるには……89

Communication

- Q64** 中学1年生でもできる会話練習は……90
Q65 意欲的に英会話をさせるには……91
Q66 会話力をさらにレベルアップするには……92
Q67 会話への緊張感をやわらげるには……93
Q68 言いたいことがうまく言えない生徒には……94

第4章

教科書を使った指導での 「困った」を解決！

Introduction ◀ IV

- 教科書指導で気をつけたい4のこと** ……96

授業導入編

- Q69** 導入で生徒を引きつけるには①……98
Q70 導入で生徒を引きつけるには②……99
Q71 生徒全員を夢中にさせる活動は……100
Q72 英語学習ビギナーへの指導のポイントは……101

- Q73 文法の定着率をアップさせるには**102
Q74 チャンツ・スキットの効果は103
Q75 フラッシュカードの効果的な使い方は104
Q76 単語を覚えられない生徒への指導方法は105
Q77 不規則動詞をうまく覚えさせるには106
Q78 中学1年生の語彙指導で重要なことは107
Q79 英語の発音を正確にさせるためには108

本文指導編

- Q80 生徒の集中力を持続させるには**109
Q81 学級内で英語力の差が大きい場合には110
Q82 補助プリントの効果的な使い方は112
Q83 教科書本文の読みに興味をもたせるには113
Q84 本文の学習をおもしろくするには114

音読練習編

- Q85 音読練習を効果的に行うには**115
Q86 英文をスラスラ読めるようにするには116
Q87 棒読みを改善するには117
Q88 意味をしっかり理解させながら読ませるには118
Q89 音読練習を活発にするには119
Q90 英語らしい発音・リズムを身につけさせるには120
Q91 シャドーイングを教室でうまく行うには121

- Q92 音読が苦手な生徒を上達させるには 122
Q93 音読練習でICTを効果的に使うには 123
Q94 音読から暗唱につなげるための指導法は 124

第5章

宿題・家庭学習・テストでの 「困った」を解決！

Introduction V

宿題・家庭学習・テストで押さえるポイント 126

- Q95 宿題の提出率をよくするには 128
Q96 家庭学習が習慣化しない生徒への対応策は 129
Q97 家庭学習でさせる内容は 130
Q98 副教材のワークの問題の上手な使い方は 131
Q99 やる気のない生徒の心に火をつけるには 132
Q100 生徒のテストの点数を伸ばすためには 133
Q101 学力を高めるテストとは 134

英語授業を改善するポイント

授業を改善するには、生徒の心をつかむ教材・計画・準備・導入・話し方、生徒を動かす活動、そして、それらを効果的に行なうことが大切です

◎ 授業づくりのポイントと準備

1年間の授業を計画する時にまずきちんとしなければならないことは、4月5月に授業のルールを徹底することです。あいさつの仕方、声の出し方、返事の仕方、発表の仕方、ペアのつくり方、忘れ物の対応、教師の説明の聞き方、活動の仕方、宿題の仕方、家庭学習の仕方など、生徒がどうすべきかを教え込みます。それが無意識にできるようになると授業は円滑に進められます。授業が円滑に進むと、効率のよい授業内容が楽に計画できます。あらかじめ、どんなことで評価するのか、1年間でどんな生徒を育てたいのかも決めておきましょう。そして、新学期は全力で授業づくりの約束を定着させましょう。

◎ 生徒的好奇心・やる気を引き出す

人は見えそうで見えないものは見ようとするし、気づいてわかった時に知的好奇心が高まります。そして、感動したことは心に残ります。また、聞くことよりも、見ること。見ることよりも体験することが記憶に残ります。「あっ！」（気づき）「そうだったのか！」（発見）「へーすごい！」（感動）を通して「よしやってみよう！」とやる気が湧いてきます。そして、「できた！」（達成感）という成功体験が次へのエネルギーになり、英語学習の好循環をつくります。

● スムーズに授業を進めるための工夫

授業の流れの簡単な計画を箇条書きにしたものを作り、それを見ながら授業を進めましょう。授業はスムーズに流れます。1時間の授業の進め方には「すばやくざっくりと」「ゆっくりていねいに」のバランスが大切です。時間をかければ効果的とは限りません。全レベルの生徒がわかる授業づくり、それが生徒をやる気にさせる基本です。一度でも、わかった、楽しいと思うと、授業はスムーズに展開します。1年間を通して、じっくり時間をかけるべき題材とあっさり扱うところを決めておくと、スムーズに指導することができます。

● 集中力・発言力を高める工夫

人はできそうでできない難しさの問題には一生懸命取り組もうとします。また、追いつけそうで追いつけないものには追いつこうとします。こうして集中している生徒を暇にすることなく、テンポのよい授業で集中力を持続させましょう。また、発言力を高めるには、まず学級の雰囲気を良好にすることが大切です。ペア活動や発表活動を取り入れて心を開かせていくと、緊張感も低下し発言しやすくなります。

● 成功体験を積める授業づくり

人は成功すると「うれしい」と感じます。そうすると、次もがんばろうとやる気が出ます。だから、生徒には成功体験をさせるといいのです。それは、みんなの前で音読が上手にできたり、自己紹介などのスピーチが成功したり、テストでよい点数を取れたり、ALTに英語が通じた喜びなどです。小さなものから大きなものまで、いくつかのハードルを越えさせてあげるといいのです。特に、地道に努力を重ねた結果、自分で満足できた成功体験は、強力な動機づけになります。

Q₁

授業力アップ編

英語授業を成功させるには

Q

「授業がうまくなりたい！」とは思うのですが、どんな授業を目指せばよいのでしょうか？

A

生徒に「身につけさせたい力」を明確にした授業づくりをしよう！

英語の授業で大切なことは、今から行う活動で生徒にどんな「英語力」と「人間力」をつけたいのか、ゴールを明確にすることです。

英語力：聞く・話す・読む・書くの4技能の他に、学生には、進路実現のために「問題を解く力」という5つ目の技能が必要となる。また、文法と文章の知識も重要で、修得された文法が理解と表現の正確さを高め、記憶された多くの英文が会話力の向上につながる。

人間力：堂々と発言できる力、緊張感を乗り越える力、誰とでも協力できる力、対話力、TPOに応じて適切に判断する力、努力を継続できる力、自律的に学習する力など、これらが社会に出る時に必要な力となる。

英語学習の基礎力「語彙」「文法」「音声」を固め、5技能をバランスよく指導します。その際、内容によって「ゆっくり細かく」「すばやくざっくり」というように、やり方やバランスにも配慮します。

上位、下位、どのレベルの生徒にもおもしろくて、わかる授業で、小さな成功体験を積ませましょう。その達成感が生徒のやる気と自信につながります。また、誰とでも仲よくペア／グループ活動をさせて協調性を高め、打ち解けた雰囲気を作ります。適度な緊張感を乗り越える発表活動もさせ、うまくできたら全員の拍手で讃えます。できた喜びは自律的学習力を育て、「英語力」と「人間力」を高めていきます。

「おもしろい！」と思わせる授業のコツは

Q

生徒がおもしろいと思える授業にしたいのですが、どんなことに気をつけたらいいですか？

A

fun、interesting、感動、気づき・発見、達成感のある授業

おもしろい授業は笑いも大切ですが、感動「おー！」、気づき・発見「あ、そうか！」、達成感・成功体験「やったー、できた！」が重要です。次の3つのことをするといいでしょう。

①ペア活動：生徒が夢中になり、あっという間に時間が過ぎて、達成感を感じられる。生徒中心の活動なので能動的になり、相手がいるので刺激し合え、自然に集中した活動となり、力がつく。

②映像や体験を取り入れる：五感を使うので感動させることができる。授業でずっと歌ってきた曲を終える最後の授業で、本人の歌う映像を見せた時に泣いていた生徒がいた。映像の力である。

③興味や発見を引き出す：教科書に出てくる教材の深い部分の情報や映像を指導書やインターネットで検索し、授業で提示すると「へーそうなんだ！」というinterestingな授業ができる。

逆に、つまらない授業は、教師の講義形式で説明が長い、ひとつの活動が長すぎる、適度な緊張感がない授業などです。

要するに、①扱う教材のおもしろさを引き出す、②生徒が動く活動を取り入れる、③授業の流れをきちんと計画し、テンポのよい授業にする、④適度な緊張感を持たせる（みんなの前での発表、時間制限を設定するなど）、⑤授業計画を立てて山場を設定する、ということが重要です。